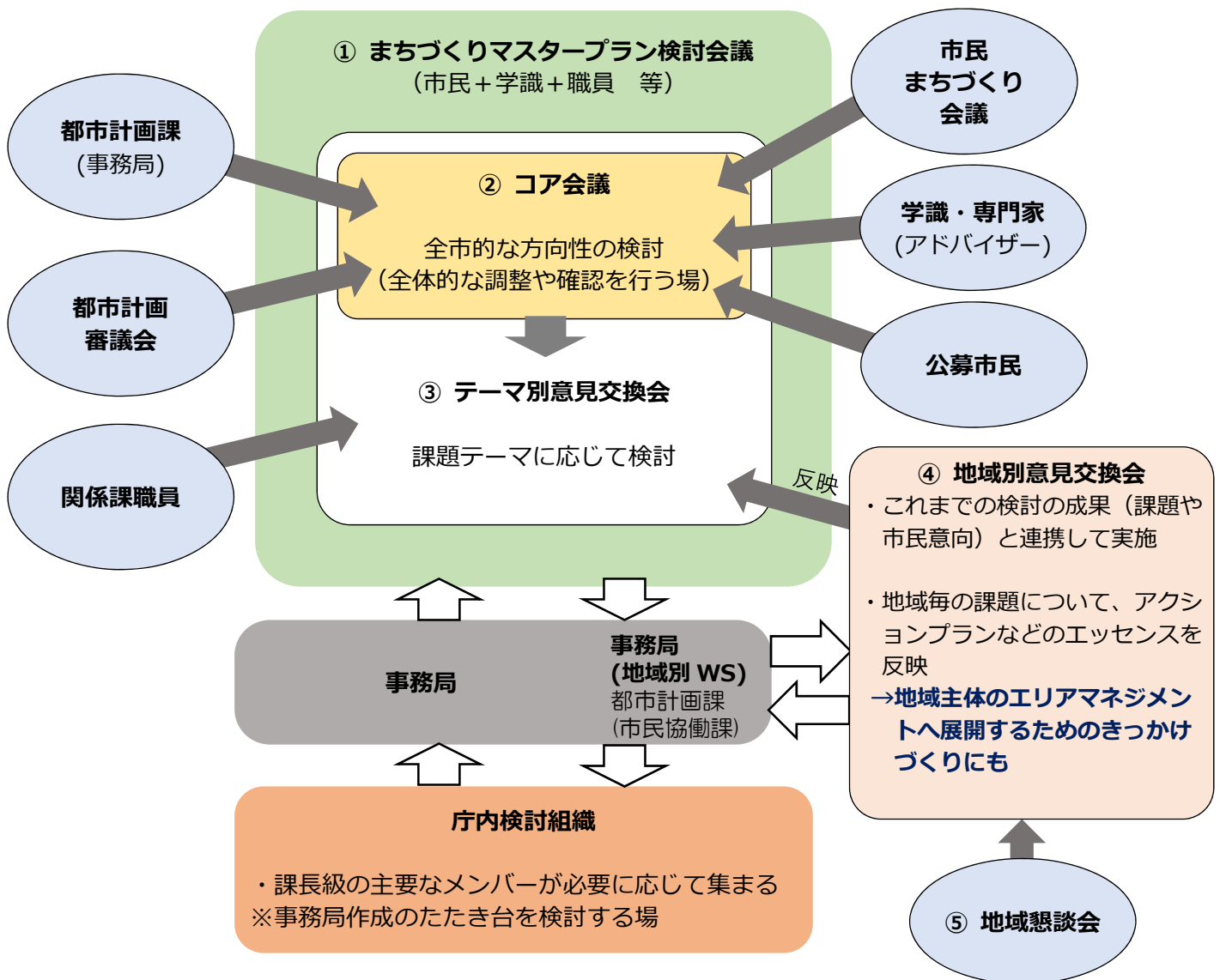


日野市まちづくりマスタープラン改訂の検討体制

① まちづくりマスタープラン検討会議

- ・検討の母体として、「まちづくりマスタープラン検討会議」を設置
- ・「検討会議」は、全体的な調整・確認を行う「コア会議」と、全市的なテーマについて検討する「テーマ別意見交換会」の2層で構成



② コア会議

- ・コア会議は、計画策定に関わる方向性の審議等を行うため、市民まちづくり会議、学識経験者、都市計画審議会から参加を募った検討会議で、中核的に議論を進める。
(市民まちづくり会議・学識経験者(2)、公募市民(9)、都市計画審議会(2)、都市計画課(事務局))

③ テーマ別意見交換会

- ・テーマ別意見交換会は、将来都市像の具体化に向けて、まちづくりマスタープランの改訂方針のうち、「日野市に暮らす価値を高める」ことを主要なテーマとして開催する。これからの暮らしについて5つの視点を設け、グループ別に検討を進める。

④ 地域別意見交換会（タウンミーティング形式）

- ・現まちづくりマスタープラン策定後の社会条件の変化やまちづくりマスタープラン基礎調査から得られた今後のまちづくりに必要な視点に対する市民の理解・共感を得るため、地域別意見交換会（8地域別）を実施する。

⑤ 地域懇談会との連携

- ・まちづくりマスタープラン改訂後には、地域主体のエリアマネジメントによるまちづくりが展開されることを期待するため、地域の自治活動や学校等の地域の拠点をベースに活動を行っている団体等により構成される地域懇談会と連携実施することで、コミュニティ単位での課題や地域活動の母体となる主体の意見を把握する。
- ・まちづくりマスタープランと地域懇談会において作成するアクションプランが互いの特性を活かして補完し合うことを期待するため、地域懇談会の取り組み・エッセンスを、改訂検討に効果的に活かす。